

お客様各位

九州産交バス株式会社

バス回送時におけるLED方向幕の表示変更について ～医療従事者のみなさまに感謝をお伝えいたします～

九州産交バス株式会社（本社：熊本市西区上代4丁目13番34号、社長：森 敬輔）は、新型コロナウイルス感染症対策に奮闘する医療従事者の皆様に対して感謝と敬意を示すため、バス回送時におけるLED方向幕の表示を本日2020年6月5日、路線バス車両190台に変更を完了いたします。

LED方向幕は、2019年9月11日より、弊社の周年行事として、熊本県民の皆様へ感謝の意をお伝えしたく「九州産交グループ77年目のありがとう 次の未来へ回送中」を表示しておりました。このたび、新型コロナウイルスの感染が広がる中で、LIGHT IT BLUEキャンペーンやブルーインパルスの“感謝飛行”など、国内外におきまして医療従事者の皆様へ感謝を示す取り組みが広がっており、弊社もこの取り組みに賛同、弊社運行のバスにおいても、その旨をお伝えする回送時のLED方向幕を表示することといたしました。

【表示期間】

2020年6月1日から当面の間

※6/1より随時変更、6/5に路線バス車両（190台）の表示変更完了。

【実施エリア】

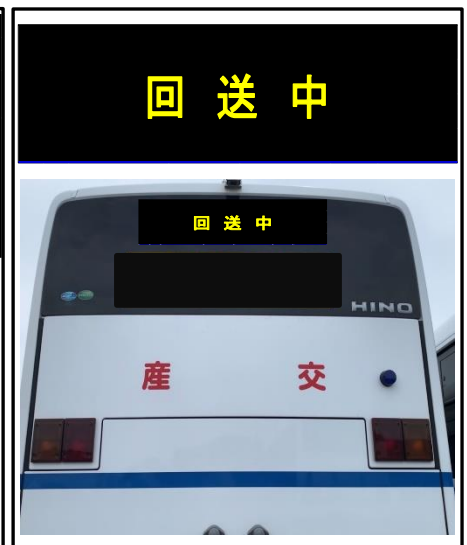
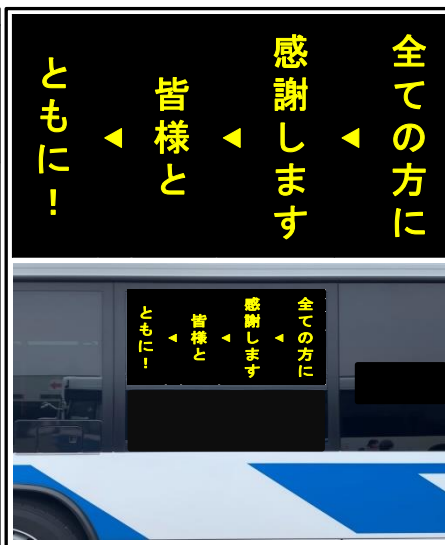
熊本都市圏（九州産交バスの車両が運行するエリアとなります。）

【変更後の回送時LED方向幕】

前面

側面

後面



～参考資料～

【バス車両で実施している新型コロナウイルス対策について】

1. 車両(内部)の消毒

＜高速車両(都市間高速バス・県内外快速バス・空港リムジンバス・貸切バス)＞

- ・車両に除菌スプレーを載せ、一運行終了毎に噴霧(2月23日から実施)
- ・九州横断バス・空港リムジンバスには除菌水噴霧器を設置し運行中に作動

＜一般路線車両＞

- ・車両に除菌スプレーを載せ、一運行終了毎に噴霧(4月13日から実施)

2. バス車内の換気

＜高速車両(都市間高速バス・県内外快速バス・空港リムジンバス・貸切バス)＞

- ・密閉防止を目的に強制排気と車内空調を利用した外気導入を実施(猛暑時を除く)

※通常、強制排気は、運転士が換気の必要を感じた時(空気の入替え、においのこもり等)にのみ実施
車内の空気は5分程度で入れ替わります。

- ・猛暑時には密閉防止と車内の快適性を両立させることを目的に車内空調を利用した外気導入を実施

※車内の空気は15分程度で入れ替わります。

＜一般路線車両＞

- ・エアコンを使用しての換気
- ・車内の窓を常時開けての運行(猛暑時・雨天時を除く)
- ・バス停での停車時に乗客の有無に限らず乗降ドア開放

3. 感染防止策

＜高速車両(都市間高速バス・県内外快速バス・空港リムジンバス・貸切バス)＞

- ・最前列(左右)の座席を、第三者との接触が多い運転士への感染リスクを抑えるため使用中止(4月24日から実施)

※予約がすでに入っている場合を除きます。

＜一般路線車両＞

- ・運転席横にビニールカーテンを設置し運転士への飛沫感染リスクの抑止

- ・最前列(左右)の座席を、第三者との接触が多い運転士への感染リスクを抑えるため4月24日から使用中止。

※前述のビニールカーテンの設置完了や、通勤通学時間帯における輸送人員の増加等の理由から6月8日より開放予定。

4. 運転士の対策

- ・運転士のマスク着用(1月23日から義務化)
- ・こまめなうがいの励行
- ・こまめな手洗いの励行
- ・体温のチェック(バス営業所・車庫に電子体温計を常備、乗務前点呼時等自主検温)

【お客様のバスのご利用状況について】

SAKURA MACHI Kumamoto 及び熊本桜町バスターミナル開業後、輸送人員は前年比 110%前後で順調に推移しておりました。

しかし、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、輸送人員は徐々に減少に転じ、4/16 の緊急事態宣言発令後、一般路線バスにおいては、前年比で平日 50%前後、土日祝日 30%前後にまで落ち込み、都市間バスにおいても前年比 20%程度まで落ち込み、本日現在も一部路線においては運休を継続している状況となっております。

新型コロナウイルス感染拡大の第二波への警戒が叫ばれている状況下ではございますが、医療従事者のみなさまをはじめ新型コロナウイルス感染症対策へ尽力されるみなさまへ感謝するとともに、弊社においても前述の感染症対策等を引き続き実行し、ご乗車いただきますお客様へ安心安全な車内環境の提供を行って参ります。

＜プレスリリースに関するお問い合わせ先＞

九州産交バス株式会社

営業本部 営業課(担当:後藤)

TEL:096-325-8303 FAX:096-323-7301